



～日本を知る衝撃を、世界へ～



JAPAN HOUSE の公募巡回展示企画に

TOTO ギャラリー・間で開催した「藤本壮介展 未来の未来」決定

この度、外務省が日本の魅力を世界へ発信するために2017年5月上旬オープン予定のサンパウロをはじめ、ロンドン・ロサンゼルス等の3都市に日本の海外発信拠点ジャパン・ハウスを創設します。

3都市のジャパン・ハウスでは、展示スペース、シアター機能のある多目的スペース、物販、飲食、書籍/web/カフェなどの活動を融合させ、伝統の未来、大衆文化の熱、ハイテクノロジーの実力、多様な食の魅力などを具体的に紹介・提示していきます。

そして、3都市の展示スペースでは、各都市を巡回する企画展が開催される予定です。その企画展に2015年TOTO ギャラリー・間で開催した「藤本壮介展 未来の未来」が選ばれました。

TOTO ギャラリー・間では、今後も建築とデザインの専門ギャラリーとして情報を発信し、国内外の文化向上に貢献してまいります。



© Nacasa & Partners Inc.

【2015年 TOTO ギャラリー・間「藤本壮介展 未来の未来」】

「藤本壮介展 未来の未来」は、下記 TOTO ギャラリー・間のホームページをご覧ください。
<http://www.toto.co.jp/gallerma/ex150417/index.htm>

JAPAN HOUSE とは

世界のより多くの人々に対して、日本の魅力の諸相を「世界を豊かにする日本」として表現・発信することにより、日本への深い理解と共感の裾野を広げていくための文化発信拠点です。各拠点は、展示スペース、シアター機能を含む多目的スペース、飲食・物販エリアを持ち、日本の多種多様な魅力を複合的に発信できる新たな情報プラットフォームとして機能していきます。同時に、現地の専門家からなる運営委員会と事務局が設置され、その知見とネットワークを活用することにより、現地の人々への浸透力の高い事業を効果的に立案・実施する体制を備えています。

JAPAN HOUSE 公式サイト

<http://www.japanhouse.jp/>

◆ 展覧会コンセプト

- 藤本壮介展 未来の未来- <Sou Fujimoto: FUTURES OF THE FUTURE>



未来の種としての建築

建築は、私たちが日々暮らしている場所だからこそ、すべての人に開かれたものでありたい。藤本壮介氏の建築は、繊細な感受性が導く自然との調和性、変化を受け入れ応えていく柔軟さ、内部から外部へと緩やかに繋がっていく領域の曖昧さといった日本独自の感性を、グローバルな普遍性に昇華させている。

「誰もまだ知らない未来の建築とは、どんな姿をしているのだろうか？」——展覧会では、そんな純粋な問いから生まれた、「未来の種」を感じさせる模型の森が出現。模型というささやかで身近な存在を通して、ともに未来の都市環境や住環境を空想し、創造していく場が生まれることが期待される。

◆ 藤本壮介



藤本壮介（ふじもと そうすけ）建築家

1971 年北海道生まれ

1994 年東京大学工学部建築学科卒業

2000 年藤本壮介建築設計事務所設立

主な作品に「Serpentine Gallery Pavilion 2013」（イギリス、ロンドン、2013 年）、「House NA」（東京都、2011 年）、「武蔵野美術大学美術館・図書館」（東京都、2010 年）、「House N」（大分県、2008 年）。Liget Budapest House of Hungarian Music（ハンガリー）国際設計競技一等受賞（2014 年）、Wall Street Journal Architecture Innovator 2014（2014 年）、モンペリエ国際設計競技最優秀賞（2014 年）、第 13 回ベネチア・ビエンナーレ国際建築展日本館の展示で金獅子賞（2012 年）、王立英国建築家協会(RIBA)インターナショナル・フェローシップ（2012 年）、台湾タワー国際設計競技（台湾）1 等（2011 年）、ベトン・ハラ ウォーターフロントセンター国際設計競技（セルビア）1 等（2011 年）、JIA 日本建築大賞（2008 年）など受賞多数。

◆ JAPAN HOUSE 概要

1. 事務局：外務省戦略的対外発信拠点室
2. 総合プロデューサー：原 研哉
3. 問い合わせ先：ジャパン・ハウス東京事務局
info-japanhouse@mofa.go.jp